

科目名	キャリア開発2	単位数	1単位	学期	前期
担当教員	申 銀珠		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-01-A-2-150002	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	<ul style="list-style-type: none"> 自己理解の視点を磨き、持っている能力、獲得したい能力や自身の特徴を知り、成長に役立てる。 日本の雇用に関する法律、制度などの基礎知識を習得し、進路選択に活かす。 就職活動・採用選考に関する知識を獲得すると共に、グループワークの実施や採用担当者の話を踏まえ、就職活動の準備に繋げる。 				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 「就職」「就職活動」を取り巻く仕組みやルール、用語などの基礎的な知識を身につけ、実際の就職活動において主体的に情報収集できる 自分自身に対する理解と社会に対する理解がバランスよくなされ、志望業界や志望職種などを想定することができる。 企業の採用ニーズを踏まえて、自らの感じる「やりがい」や目指す「方向性」、これまでに培われてきた「強み」などを明確に把握できており、選考場面を想定したコミュニケーションのポイントを自己で把握できている。 				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	学生生活からその先へ（斎藤幸江） キャリア開発1のポイントのまとめ。学生生活から社会人へと連続するキャリアとしての視点で、自らの将来をとらえる。
第2回	社会人に必要な力（斎藤幸江） 職場では、何を期待されているのか。新卒入社からどのように「人材」としてのキャリアがスタートするのかを理解する。
第3回	就職活動と採用選考（斎藤幸江） 社会人への期待を理解した上で、選考で何を評価するのか。それは、どのような視点や方法でチェックされるのかなどを学ぶ。

第4回	業界研究&インターンシップ説明会（広報しえん） 県内企業3社を招聘し、各社の特色や求める人物像など幅広い視点から学び、今後の業界研究や職業選択の「軸」を考える。
第5回	インターンシップマナー講座（マナーズ） インターンシップをまじかに控え、社会人とコミュニケーションの取り方の基本を学ぶ。
第6回	チームに必要なスキル（斎藤幸江） 社会に必要なコミュニケーション能力やチームでの役割の見つけ方、貢献の方法を学び、グループワークを通じて確認する（状況によりワーク中止の場合もあります）。
第7回	雇用や仕事を取り巻く基礎知識（斎藤幸江） 正社員と非正社員、業種と職種といった基本用語に加えて、ジョブ型雇用や雇用システムなどについて理解する。
第8回	自己理解を深める講座「自分史から未来を拓く」（リクルートキャリア） これまでの自分を振り返り、モチベーションのバイオリズムを作成し客観的に自己理解を深める。自分の新しい強みを探求し学生生活で様々なことに挑戦するモチベーションの上げ方を学ぶ。
第9回	労働法とワークライフバランス（斎藤幸江） 労働に関する基本的な法律、給与明細や雇用条件の見方などを理解する。ワークライフバランスや多様化する雇用形態の現状や課題について理解し、将来設計に役立てる。
第10回	さまざまなキャリア（斎藤幸江） 就職と就社、終身雇用かジョブホッピングかなど、就労に何を期待するのか。どんな選択肢があるのかを、さまざまな実例をもとに理解し、将来設計に役立てる。情報収集の方法やツールについても学び、実践につなげる。
第11回	自己の社会人像を描く（斎藤幸江） 今までの授業を振り返りながら、進路に望む条件、そこでの働き方、将来なりたい自分を考える。その上で、今できることを分析する。
第12回	映像で学ぶ就職活動スタートアップ講座（マイナビ） ムビゲーションを使用し、就職活動へ向けて今後の準備を映像と解説を通して明確な考え方を構築し、行動できるようにする。
第13回	キャリアと私を説明しよう（斎藤幸江） キャリアについての自分の考えや自分の特徴や将来プランなどについて、どのように説明すればいいのか、ポイントを理解する。応募書類の作成や面接、自分のアイデアの整理などの活かす。

第14回	講演：「新潟県の産業・職業を知ろう」（キャリア支援課） 新潟県産業労働観光部の担当者を招き、新潟県の財務状況、産業界など幅広い分野の内容で、卒業後の進路について選択肢の考え方を学ぶ。
第15回	まとめと補足（斎藤幸江） 今まで学んだことの復習及び就職活動へのアドバイスなどの補足。
第16回	（なし）

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布資料の予習。
【復習】時間・内容	資料の不明点を理解する。

成績評価	
評価基準・方法	<ul style="list-style-type: none"> 毎回の出席及び、授業後に提出するペーパーの内容が評価対象となる。キャリア開発2では、最終レポートを予定。（出席50点 提出物50点＜毎回のペーパー40、レポート10＞） 毎回のペーパーに関しては、記入がある、授業を履修したことがわかる、（一般論ではなく）自分の課題としてとらえている、主体的な理解・応用につなげているの4つの視点で評価。
フィードバック方法	毎回の課題に対して、次回の授業で補足説明を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	ディスカッション、ディベート/グループワーク
教科書/参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア開発1、2の共通テキストとして、「キャリアデザインの教科書」（北浦正行編著 労働調査会）を用いる。 ・動画視聴や新聞記事の紹介を随時行う。
受講上の留意点等	<ul style="list-style-type: none"> ・ライブアンケートを実施することがあるので、ネットアクセス可能なパソコンやスマートフォンを用意する。
JABEE	